

代 表 者

中
田

行 政 視 察 及 び 陳 情 報 告 書

令和5年1月30日

各 会 派 代 表 者 様

呉市議会議員

中田光政

小田晃士朗

橋口晶

福永高美

岡崎源太郎

定森健次朗

森本茂樹

次のとおり行政視察及び陳情活動をしたので報告します。

1. 視察期日

令和5年1月22日(日), 23日(月), 24日(火)

2. 調査項目

東京都美術館リニューアルについて
特別交付税陳情

3. 参加議員

中田光政, 小田晃士朗, 橋口晶, 福永高美,
岡崎源太郎, 定森健次朗, 森本茂樹

4. 随行者

なし

【東京都】

■調査項目

東京都美術館リニューアルについて

・調査対応者

東京都美術館

学芸担当課長 山村 仁志 氏

管理係長 真田 千春 氏

管理係 茂木 大輔 氏

・調査期日

令和5年1月23日（月）午前9時30分～午前11時00分

・東京都の概要

人口：13,841,665人

世帯数：7,451,051世帯

（令和5年1月1日現在）

・調査目的

美術館などの展示施設のリニューアルについての知見を得ることを目的とした。

・調査内容

○ 東京都美術館の概要

1 沿革

1926年（大正15年）に開館し、管理運営を変更しながら運営を行った。平成19年に「東京都美術館大規模改修基本計画」の策定を公表し、その後2年間の休館を行い、2012年（平成24年）にリニューアルオープンした。

2 使命

- ・東京都美術館は、展覧会を鑑賞する、子供たちが訪れる、芸術家の卵が初めて出品する、障害のある方が気軽に来館できる、すべての人に開かれた「アートへの入口」となることを目指す。
- ・訪れた人が、新しい価値に触れ、自己を見つめ、世界との絆が深まる「創造と共生の場＝アート・コミュニティ」を築き、「生きる糧としてのアート」に出会える場とし、人びとの「心のゆたかさの拠り所」となることを目指す。

3 施設

敷地面積：16,639㎡

建築面積：7,999㎡（地上2階，地下3階）

延床面積：37,749㎡

- 4 予 算（令和 4 年度）
収入：約 10 億 3 4 0 7 万円，
支出：約 10 億 3 8 5 5 万円
- 5 組織・人員
職員 26 名（常勤 23，非常勤 3）
- 6 主な事業
 - ・ 展覧会事業
 - ・ 公募展事業
 - ・ アート・コミュニケーション事業
 - ・ アメニティ事業
- 7 参考資料
「東京都美術館概要【令和 4 年度】」
「東京都美術館ニュース」
「東京都美術館【日本語版】」

- リニューアルに至るまでの背景，目的について
1975（昭和 50）年の建物竣工から約 36 年が経ち，施設や設備の老朽化が進んでいたことから，設備の全面更新に加え，ユニバーサルデザインの整備，来館者の鑑賞空間の質的向上や利用者の利便性向上を図るため，既存躯体を残したうえで，2010（平成 22）年 3 月から 2012（平成 24）年 2 月にかけて全面改修工事を行った。
- リニューアルの設計，計画費用の概要について
改修基本方針としては，「躯体を残した大規模改修」「新たな文化の発信拠点として再整備」「美術館としてのアメニティや魅力の向上」「設備の全面更新・環境負荷の低減」の 4 つを基本方針として整備を行った。
- リニューアル前後での入館者などの変化について
リニューアル後，特別展と企画展など変更により，統計取得方法が変更したが，来館者自体は増加傾向である。また，レストラン・ショップの利用者も増加傾向にある。
- 東京都美術館管理施設視察
中央監視室，荷解室，機械室など

【質疑応答】

- Q 展示部分のリニューアルに関して、一部LEDライトを利用していると説明があったが、展示のライトは主に何を使っているのか。
- A 天然色に近い紫外線カットの蛍光灯を使っている。特に公募展は、全て蛍光灯である。しかし、これは既に生産を中止しているのので、在庫を倉庫に入れておくことに加え、メーカー側に在庫を持っていていただき、その都度購入している。蛍光灯からLEDライトに計画的に直していかないといけない。
- Q 天然色に近いライトを使っているとあったが、LEDライトである美術品の見え方が悪くなるという意見もあるが、LEDライトで問題はないのか。
- A 学芸員としては、こだわりがあるので蛍光灯を使っているところもあるが、備品の枯渇も加味して、長期的にはLEDライトに切り替えないといけないという危機感がある。LEDライトを使う場合は、展示ガラスやLEDライトを特注で製作している。今回の場合も、学芸員が5日間程度の時間を使って、色具合などをテストした。
- Q 蛍光灯をLEDライトに変更した場合は、どの程度の経費がかかるのか。
- A 今回は、自主事業でスポットの変更であったが、普段使いの展示とは違うので一概には言えない。一度展示室の蛍光灯とLEDライトに変更の見積もりをメーカーに依頼したことがあるが、器具を変えるだけで10億以上かかりそうだと回答があった。単純にライトを並列にするのではなく、展示ガラスごと、LEDライトの場所においても微妙な調整が必要であるので、後の変更はとても大変だと思われる。
- Q レストラン併設の場合、湿度管理が難しいと思うが工夫はあるか。
- A 生花は禁止で、館内に入るものは全て造花になっている。外注ではあるが、防除の予算をかなり割いている。展示室に関しては、学芸員が専用の知識を用いて防除しているので、薬は撒いていない。フィルターを定期的に交換し、虫の展示室の侵入を防止している。
- Q リニューアルのコンセプトで重視したことは、躯体を残した意味はあるか。ユニバーサルデザインはどの程度力をいれたのか。
- A 東京都美術館は、貸館料が収入の大部分なので、大勢の方に来てもらうために展示環境を改善することが必要だった。展示者がより展示しやすいように整備しないといけない。このため、リニューアルに当たっては、すべての人に対してきてもらいやすいということでユニバーサルデザインを目指した。ユニバーサルデザインは時代の要請に基づいて整備した。今後も様々な要望などがあると思うので、対応・修正していかないといけないと思っている。
- Q 上野公園との回遊性の確保と説明があったが、どのように変わったのか。
- A 東京都美術館の表側から入ると上野公園から東京国立博物館に向けて通り抜けできなかった。これを改善した。
- Q リニューアル前と比較して客層の変化はあったか。
- A 基本的には、年配の女性が多くリニューアル前と後で大きな変化はなかった。一方で、コロナ禍を受けて、若い方が来るようになった。

Q 休館中に別の場所に展示したなどの対応は行ったか。

A 基本的に、貸館がメインであり、コレクションも多くは所蔵していないので、別の場所に美術品の展示は行っていない。展示品を一時避難して、改修を行った。ただし、六本木に同じような機能を持った美術館があるので、その施設と改修時期が被らないように配慮した。

【呉市での展開の可能性】

本市では、令和7年度に向けて「呉市海事歴史科学館のリニューアル」を計画しており、令和5年度には実施設計を行う予定である。また、幸町地区総合整備の検討も令和5年度から始まる予定であり、大型の博物館・美術館の更新が控えている。

今回の視察は、平成24年にリニューアルオープンした東京都美術館の最新設備を視察することで、貴重な資料の適切な展示方法・管理方法を調査した。今後の方策を検討したい。

■陳情内容

特別交付税増額要望について

・要望先

地元選出国會議員	衆議院議員	寺田	稔	氏
	衆議院議員	石橋	林太郎	氏
	衆議院議員	畦元	将吾	氏
	衆議院議員	平林	晃	氏
	衆議院議員	日下	正喜	氏
	衆議院議員	空本	誠喜	氏
	参議院議員	宮口	治子	氏
	参議院議員	宮沢	洋一	氏
	参議院議員	三上	えり	氏
	参議院議員	森本	真治	氏
	参議院議員	越智	俊之	氏

関係省庁

総務省 松本剛明総務大臣、新田一郎財政課長
財務省 新川浩嗣主計局長、小澤研也主計官

・陳情日

令和5年1月23日(月) 12時50分～17時30分

・陳情目的

特別交付税の増額を要望するため

・陳情内容

特別交付税の配分に当たって、23億円の確保依頼

【詳細】

1. 産業・雇用対策に要する経費(2,995百万円)
2. 平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興及び安全・安心なまちづくりによる経費(1,138百万円)
3. 呉駅周辺地域総合開発推進等に要する経費(42百万円)
4. 地域活性化対策に要する経費(1,317百万円)
5. 子育てしやすい環境づくりに要する経費(2,043百万円)
6. デジタル化及び行財政改革に要する経費(513百万円)
7. グリーン社会の実現に要する経費(909百万円)
8. 高齢者及び障害者福祉対策に要する経費(1,107百万円)
9. 公営事業会計への操出しに要する経費(1,944百万円)
10. 光熱費高騰対応に要する経費(389百万円)